

第2章 研究業績一覧  
昭和58～平成14年度

- 注1) 試験研究報告, 学術雑誌, 学会講演要旨集などに発表したオリジナルなものに限った。  
 注2) 昭和58年以前のもので「徳島県立農業試験場八十年史」に連載されていないものを一部掲載した。  
 注3) 記述の方法はつぎのとおりとした。  
 番号) 著者氏名(刊行西暦年): 課題名, 発表誌名, 巻(号): 最初と最後のページ  
 注4) 発表誌名の略名は以下のとおりとした。

誌名	略名
徳島県立農業試験場試験研究報告	徳島農試研報
徳島県立農林水産総合技術センター 農業研究所試験研究報告	徳島農研報
徳島県立農林水産総合技術センター 農業研究所研究報告	徳島農研研報
園芸学会中四国支部研究発表要旨	園芸中四国発表要旨

1 作物科・栽培育種担当(作物)

- 1) 小山弘・谷本温暉・広田年信・川人浩・福岡省二(1985): 徳島県における転作大豆の収量からみた地域性とその要因(第2報)ポットの地域交換栽培による生育収量の比較と要因解析.  
徳島農試研報, 22:1～5
- 2) 高源昭雄(1987): 徳島県における藍栽培.  
日本育種学会四国支部談話会
- 3) 広田年信・野本陽一(1990): 他用途利用米「アケノホシ」の生育特性と多収栽培法.  
徳島農試研報, 27:1～17
- 4) 野本陽一・後藤田栄一・佐竹治男(1992): 徳島県における極早生水稻の新奨励品種「ハナエチゼン」の特性.  
徳島農試研報, 28:1～6
- 5) 広田年信(1992): 徳島県における水稻の生育診断予測技術(第1報)水稻奨励品種の出穂期および成熟期の推定.  
徳島農試研報, 28:7～21
- 6) 野本陽一・広田年信(1992): 徳島県におけるビール麦の生育特性および品質.  
日本作物学会四国支部第29回講演会, :62～63
- 7) 野本陽一(1994): 水稻普通期栽培における乳苗移植栽培技術.  
四国農業の新しい技術, 2:59～63
- 8) 近藤真二(1994): 異常気象年における早期水稻の生育・収量の特徴.  
日本作物学会四国支部会第31回講演要旨, :56～57
- 9) 近藤真二(1994): 水稻の湛水散播栽培における生育型の変動.  
日本作物学会四国支部会第31回講演要旨, :58～59
- 10) 広田年信・野本陽一・近藤真二(1995): 四国地域における米の食味 -栽培・環境条件との関連性- 第1章 徳島県における水稻の栽培条件と食味関連形質との関係.  
四国農業試験場研究資料, 14:1～6
- 11) 山本善太・野本陽一(1996): 風乾ヨシの条間敷草が水稻の生育・収量に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 32:1～4
- 12) 藪内和男・豊成傑(2000): キヌヒカリの心白粒発生に及ぼす移植時期および施肥法の影響.  
徳島農試研報, 36:1～6
- 13) 南明信(2001): 小麦における有機質肥料施用法.  
日本作物学会四国支部第38回講演会, :24～25
- 14) 藪内和男(2002): 徳島県の酒米の現状と展望.  
日本作物学会四国支部会シンポジウム, :50～51

2 野菜科・プロジェクト担当(作業システム)・栽培育種担当(野菜)

- 1) 古藤英司・町田治幸・板東一宏(1984): 春まきトンネルダイコンの花成に関する研究.  
園芸学会研究発表要旨, 昭59秋:234～235
- 2) 町田治幸・古藤英司・小川純一(1984): 秋まきトンネルダイコンの生産安定に関する研究(第2報)秋まきトンネルダイコンの播種期と品種適応性.  
園芸学会研究発表要旨, 昭59秋:238～239
- 3) 古藤英司(1984): 気象災害回避による冬春ダイコンの生産安定技術.  
四国地域普及技術レポート, 8:1～10
- 4) 阿部泰典(1984): ミツバチ利用によるイチゴの促成栽培技術の確立.  
農業技術, 39(7):308～311
- 5) 古藤英司・町田治幸・板東一宏(1985): 春まきトンネルダイコンの生育初期の屋温が抽だいに及ぼす影響.  
徳島農試研報, 22:6～12
- 6) 町田治幸・古藤英司・小川純一・隔山普宣(1985): 春どり青首ダイコンの被覆下栽培における播種期と品種適応性.  
徳島農試研報, 22:13～27
- 7) 板東一宏・古藤英司・町田治幸(1986): 西南暖地におけるスイートコーンのトンネル栽培.  
徳島農試研報, 23:1～10
- 8) 古藤英司・町田治幸(1987): トンネルの換気量が気温・地温・CO2濃度およびニンジンの生育に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 24:1～9
- 9) 川村泰史・町田治幸・小川純一(1988): 促成イチゴ循環式ロックウール栽培の育苗・定植期及び給液法.  
徳島農試研報, 25:5～15

- 10) 板東一宏・町田治幸(1988): トマトのロックウール栽培実用化技術の確立(第1報)かけ流し方式における培養液濃度が品質、収量に及ぼす影響。  
徳島農試研報, 25: 16~25
- 11) 板東一宏・町田治幸・古藤英司(1988): トマトのロックウール栽培実用化技術の確立(第2報)循環方式における培養液濃度及び給液法が品質、収量に及ぼす影響。  
徳島農試研報, 25: 26~34
- 12) 町田治幸(1988): 果菜類の生理障害(ナス).  
園芸学会シンポジウム講演要旨, 昭63秋: 68~78
- 13) 板東一宏(1988): トマトの循環方式ロックウール栽培における培養液濃度と品種.  
園芸学会研究発表要旨, 昭63秋: 304~305
- 14) 板東一宏(1988): トマトのかけ流し方式ロックウール栽培における培養液処方.  
園芸中四国発表要旨, 27: 38
- 15) 板東一宏・町田治幸(1989): トマトのロックウール栽培実用化技術の確立(第3報)循環方式における培養液濃度が品質、収量に及ぼす影響並びに品種間差異。  
徳島農試研報, 26: 1~8
- 16) 板東一宏・町田治幸(1989): 循環方式ロックウール栽培における冬作トマトの培養液処方.  
園芸中四国発表要旨, 28: 33
- 17) 町田治幸(1989): 高品質, 低コストをめざした養液栽培技術と問題点.  
養液栽培研究会徳島大会
- 18) 板東一宏(1989): 循環式ロックウール栽培におけるトマトの作型別培養液管理法.  
養液栽培研究会徳島大会
- 19) 隔山普宣・町田治幸(1990): 促成イチゴの循環方式ロックウール栽培における育苗培地, 定植法および培養液濃度.  
徳島農試研報, 27: 18~28
- 20) 板東一宏・町田治幸(1990): 循環式ロックウール栽培における培養液濃度, 組成が春夏作トマトの収量, 品質, 尻腐れ果発生に及ぼす影響.  
園芸学会雑誌, 59(別1): 306~307
- 21) 井内美砂・隔山普宣(1990): NFT栽培におけるイチゴの育苗培地.  
園芸中四国発表要旨, 29:
- 22) 板東一宏(1990): 高温期のロックウール栽培における培養液管理がトマトの初期生育に及ぼす影響.  
園芸中四国発表要旨, 29: 44
- 23) 板東一宏(1991): トマトの循環式ロックウール栽培[1].  
農業および園芸, 66(6): 731~736
- 24) 板東一宏(1991): トマトの循環式ロックウール栽培[2].  
農業および園芸, 66(7): 848~852
- 25) 板東一宏・町田治幸(1992): トマトのロックウール栽培実用化技術の確立(第4報)循環方式における培養液組成が品質、収量に及ぼす影響。  
徳島農試研報, 28: 35~42
- 26) 井内美砂・隔山普宣(1992): NFT栽培におけるイチゴの育苗培地.  
徳島農試研報, 28: 43~47
- 27) 川下輝一(1994): カブのミニパイプハウス利用春どり栽培における効果的なべたがけ時期.  
四国農業の新しい技術, 2: 77~83
- 28) 川下輝一・北岡祥治(1994): イチゴのクラウン利用による簡易増殖法(第1報)クラウンの部位別萌芽とBA剤・殺菌剤処理が萌芽に及ぼす影響。  
園芸中四国発表要旨, 33: 40
- 29) 吉田良・川下輝一・板東一宏(1994): サツマイモの機械定植システムに対応した新育苗法(第1報)蔓先処理方法及び育苗日数。  
園芸中四国発表要旨, 33: 47
- 30) 吉田良・川下輝一・板東一宏(1994): サツマイモの機械定植システムに対応した新育苗法(第2報)セルトレイと培土の種類が収量に及ぼす影響。  
園芸中四国発表要旨, 33: 48
- 31) 吉田良・川下輝一(1994): サツマイモの機械定植システムに対応した新育苗法(第3報)蔓先処理方法及び育苗日数。  
園芸中四国発表要旨, 33: 49
- 32) 隔山普宣・川下輝一・北岡祥治(1994): カブのミニパイプハウス春どり栽培における穴あけ換気とべたがけ被覆がハウス内温度ならびに生育に及ぼす影響。  
徳島農試研報, 30: 1~10
- 33) 吉田良・川下輝一・板東一宏(1995): セル成型育苗によるサツマイモの機械移植法の開発。  
徳島農試研報, 31: 7~12
- 34) 板東一宏(1998): トマトのヤシガラ培地耕の実用化に関する研究 第1報 冬作における生育, 品質, 収量。  
園芸中四国発表要旨: 23
- 35) 吉田良(1998): サツマイモのつる処理機。  
四国農業の新しい技術, 7: 17~19
- 36) 川下輝一・吉田良(1998): セル成型苗利用によるイチゴの促成栽培。  
徳島農試研報, 34: 1~8
- 37) 吉田良(1998): サツマイモつる処理機。  
農業機械学会誌, 60(6): 157~158
- 38) 井方宏典・板東一宏・川下輝一・岡田邦彦(1999): ニンジンのトンネル栽培における生育予測モデル。  
園芸中四国発表要旨, 38: 27
- 39) 板東一宏・佐藤佳宏(1999): イチゴの養液栽培におけるベッド構造・培地の種類・培地加温の有無が生育, 収量に及ぼす影響。  
園芸中四国発表要旨, 38: 29
- 40) 吉田良・川下輝一・板東一宏(1999): 促成栽培用イチゴ品種「めぐみ」の育成。  
園芸中四国発表要旨, 38: 38
- 41) 吉田良・板東一宏・川下輝一・山本洋治・桑原穰(1999): サツマイモのつる処理機の開発。  
徳島農試研報, 35: 1~6
- 42) 井方宏典・板東一宏・川下輝一・岡田邦彦(1999): ニンジンのトンネル栽培における生育予測モデル。  
徳島農試研報, 35: 7~13
- 43) 吉田良(2000): イチゴの新品種「めぐみ」。

- 44) 吉田良(2001): 新編野菜園芸ハンドブック(養賢堂発行)第5章 第3節 サツマイモ:705~712
- 45) 杉本和之(2001): コマツナの防虫ネットと簡易太陽熱消毒利用による害虫防除と雑草抑制.  
四国農業の新しい技術, 10:85~87
- 46) 松關正典・板東一宏・佐藤佳宏(2002): イチゴの徳島農研方式高設養液栽培の開発.  
徳島農試研報, 37:1~12
- 47) 松關正典・板東一宏(2002): イチゴ高設栽培における培養液の種類が生育, 品質, 収量に及ぼす影響.  
園芸中四国発表要旨, 41:38
- 48) 杉本和之・板東一宏(2002): トマトのヤシガラ培地耕の実用化に関する研究(第2報)培地の連用が生育, 収量, 品質に及ぼす影響.  
園芸中四国発表要旨, 41:32
- 49) 杉本和之(2002): トマト養液栽培における環境保全への取り組み.  
日本養液栽培研究会香川大会:2~7
- 50) 板東一宏(2002): 徳島農研方式イチゴ高設栽培について.  
日本養液土耕研究会
- 51) 吉田良(2003): サツマイモの挿苗用電動作業台車.  
近畿中国四国地域における新技術, 1:103~105
- 52) 杉本和之(2003): 中山間地域におけるホウレンソウおよびコマツナの夏秋どり栽培技術.  
近畿中国四国地域における新技術, 1:149~150

### 3 花き科・栽培育種担当(花き)

- 1) 住友昭利・前田浩典・浦上好博(1987): 暖地におけるシンテッポウユリの栽培技術と切花品質・収量.  
徳島農試研報, 24:10~19
- 2) 浦上好博・住友昭利・前田浩典(1988): シンビジウムの奇形花に関する研究(第1報)夏季の高温が奇形花発生に及ぼす影響.  
園芸学会研究発表要旨, 昭63秋:540
- 3) 前田浩典・浦上好博・住友昭利(1989): プバルディアの冬季切花栽培における生育開花調節について.  
徳島農試研報, 26:17~28
- 4) 浦上好博・住友昭利・前田浩典(1989): シンビジウムの奇形花に関する研究(第1報)花芽形成過程における夏季の高温が奇形花発生に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 26:29~37
- 5) 浦上好博(1990): ヒオウギの苗条原基誘導と植物体再生.  
園芸中四国発表要旨, 29:
- 6) 浦上好博・前田浩典・高木和彦・貞野光弘(1992): ヒオウギの組織培養による大量増殖(第1報)苗条原基誘導と植物体再生.  
徳島農試研報, 28:22~29
- 7) 高木和彦(1992): トルコギキョウ育苗に用いる容器の大きさと培土の物理性.  
園芸学会雑誌, 61(別1):396~397
- 8) 浦上好博(1993): ミヤコワスレ培養苗の利用による切り花品質向上と変異の抑制.  
四国農業の新しい技術, 1:45~51
- 9) 高木和彦・前田浩典・浦上好博(1994): シンテッポウユリの実生切り下球のりん片繁殖苗利用による高品質切り花の6~7月収穫について.  
徳島農試研報, 30:17~24
- 10) 高木和彦・浦上好博・大和明弘(1995): トルコギキョウの秋・春二度切り作型におけるマルチを利用した切り花の高品質化.  
徳島農試研報, 31:21~25
- 11) 大和明弘・浦上好博・高木和彦(1996): 生長調節物質処理および昼温管理がシュツコンカスミソウ切り花の形状に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 32:15~21
- 12) 王裕霞・高木和彦・新居宏延(2000): ファレノプシスの根端培養によるPLB形成に及ぼす諸要因の影響.  
徳島農試研報, 36:18~22
- 13) 新居宏延(2001): 竹炭培地によるシンビジウムの切り花栽培.  
第7回アジア太平洋蘭会議・蘭展公式記録集, :178~179
- 14) 高木和彦(2001): シンテッポウユリ新品種「阿波の白雪」.  
四国農業の新しい技術, 10:99~102
- 15) 新居宏延・高木和彦・前田浩典(2002): 竹炭培地によるシンビジウムの切り花栽培(第1報)竹炭の種類・利用方法が生育開花に及ぼす影響.  
徳島農研研報, 37:31~35
- 16) 近藤真二(2002): 施肥の違いがオンシジウムの生育・開花に及ぼす影響.  
園芸中四国発表要旨, 41:57
- 17) 高木和彦(2002): シンテッポウユリ新品種「阿波の白雪」(品種登録申請中)の育成.  
園芸中四国発表要旨, 41:55
- 18) 須藤憲一・新居宏延・今村仁・岡本章秀(2003): ファレノプシス栽培培地溶液中の養分濃度が葉と根搾汁液中の養分濃度に及ぼす影響.  
九州農業研究, 65:210

### 4 農芸化学科・プロジェクト担当(砂地畑)・生産環境担当(土壌肥料)

- 1) 川口公男(1982): これからのタケノコ園の土壌管理.  
農業および園芸, 57(10):1301~1304
- 2) 林捷夫・中野隆司(1985): オモトのうずまき症(仮称)の発生要因.  
徳島農試研報, 22:71~77
- 3) 岡田俊美・細川幸之助・川口公男(1986): 茶樹に対する肥料の多量施用が生育及び土壌に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 23:23~30
- 4) 岡田俊美・中野隆司(1986): 徳島県の砂地畑における土壌及びサツマイモ葉中の養分含有率に及ぼす土壌pHの影響.

- 5) 川口公男・山本英記(1987): レンコンの呼吸特性と土壌の酸化還元.  
徳島農試研報, 24: 30~33
- 6) 黒田康文(1988): 塩害地におけるレンコンの生産改善.  
四国土壌肥料協議会講演要旨集, 23: 20~21
- 7) 葉柳清照・岡田俊美・川口公男・山本英記(1990): 徳島県における遊離酸化鉄欠乏水田の分布と含鉄資材の施用効果(第1報)遊離酸化鉄欠乏水田の分布.  
徳島農試研報, 27: 44~50
- 8) 葉柳清照・岡田俊美・黒田康文・梯美仁・山本英記(1990): 徳島県における遊離酸化鉄欠乏水田の分布と含鉄資材の施用効果(第2報)含鉄資材の施用効果.  
徳島農試研報, 27: 51~58
- 9) 岡田俊美・細川幸之助・葉柳清照・山本英記(1990): 窒素施用量の違いが茶樹の生育と土壌化学性に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 27: 59~66
- 10) 葉柳清照ほか(1990): 徳島県における鉄欠乏水田の分布と改良対策.  
四国土壌肥料協議会講演要旨集, 24: 10~11
- 11) 豊成傑(1990): ニンジンの根部障害発生要因について.  
四国土壌肥料協議会講演要旨集, 25: 26~27
- 12) 岡田俊美・山本英記・川口公男(1990): 徳島県における風食の実態と二・三の防止対策の効果.  
日本砂丘研究会第37回全国大会: 6~7
- 13) 黒田康文(1990): 砂地畑におけるサツマイモのホウ素過剰症.  
日本土壌肥料学会関西支部講要: 19
- 14) 山本英記(1991): 客土砂(手入れ砂)による良品質根菜類の生産.  
農業技術, 46(3): 17~21
- 15) 黒田康文(1991): 砂地畑におけるサツマイモのホウ素過剰症.  
日本砂丘研究会第38回全国大会
- 16) 黒田康文・岡田俊美・山本英記(1993): 徳島県の砂地畑におけるサツマイモのホウ素過剰による葉縁褐変症.  
徳島農試研報, 29: 20~27
- 17) 黒島忠司・森浩一・青江博文(1994): 砂地畑における客土(手入れ砂)に対する栽培農家の意識調査.  
日本土壌肥料学会講演要旨, 40: 142
- 18) 松家義克・黒島忠司・野本陽一(1995): 粘質土壌の基盤整備水田におけるビール麦に対する排水改善.  
日本土壌肥料学会関西支部講演要旨: 5
- 19) 梯美仁・黒島忠司・武市啓志・黒田康文・高尾由美子(1995): 砂地畑における微細粒子の除去効果.  
日本土壌肥料学会関西支部講演要旨: 9
- 20) 波多間美貴子・黒島忠司・黒田康文(1995): 水稲栽培におけるヨシ敷草処理の肥料効果と抑草効果.  
日本土壌肥料学会関西支部講演要旨: 9
- 21) 黒島忠司・波多間美貴子・梯美仁・松家義克(1995): ビニルトンネルにおける西洋ニンジンの施肥と養分吸収.  
日本土壌肥料学会関西支部講演要旨
- 22) 黒島忠司(1996): 基盤整備圃場における硫酸酸性土壌の発生原因とその対策.  
四国土壌肥料協議会研究報告, 31: 12~24
- 23) 波多間美貴子・黒田康文・黒島忠司・松家義克(1996): 水稲栽培におけるヨシ敷草処理の肥料効果と抑草効果.  
徳島農試研報, 32: 5~11
- 24) 梯美仁・黒島忠司・武市啓志・黒田康文・高尾由美子(1996): 連作砂地畑における微細粒子の除去が土壌の物理性とサツマイモの生育、収量および品質に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 32: 29~34
- 25) 松家義克・黒島忠司・野本陽一(1996): 粘質土壌の基盤整備水田におけるパンブレーカによる下層土の物理性改善.  
徳島農試研報, 32: 35~39
- 26) 梯美仁・黒島忠司・高尾由美子(1996): ニンジン横しま症発症部位におけるフェノールの集積.  
日本土壌肥料学会関西支部講演要旨: 29
- 27) 松家義克・米山忠克・増田泰三(1996): 市販のニンジンの $\beta$ -カロチン含量と数種の糖含量.  
日本土壌肥料学会関西支部講演要旨: 30
- 28) 黒島忠司・川下輝一・野本陽一(1996): 水田の高度利用のための耕種の土壌改良.  
農業および園芸, 71(4): 477~483
- 29) 梯美仁・黒島忠司(1997): 砂地畑における肥培管理とサツマイモの品質.  
日本土壌肥料学会関西支部講演要旨: 17
- 30) 梯美仁・黒島忠司(1997): 土壌水分がニンジン横しま症の発生に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 33: 25~30
- 31) 梯美仁(1998): サツマイモ栽培における砂地畑土壌の適正粒径組成.  
四国農業の新しい技術, 7: 87~90
- 32) 小川仁・波多間美貴子・黒島忠司・梯美仁(1998): 水稲の無化学肥料栽培におけるナタネ油粕の効果的な基肥施用法.  
徳島農試研報, 34: 23~27
- 33) 松家義克・黒島忠司・喜田直康(1998): ニンジンのビニルトンネル栽培地域における環境保全型土壌管理 第1報 土地利用が異なる圃場の下層土における硝酸態窒素の集積実態.  
徳島農試研報, 34: 28~33
- 34) 梯美仁(1998): 造成砂地畑の特徴と土壌管理.  
日本砂丘学会第45回全国大会: 34~41
- 35) 梯美仁(1999): 造成砂地畑の特徴と土壌管理.  
日本砂丘学会誌, 45(2): 45~51
- 36) 梯美仁・黒島忠司(1999): サツマイモ栽培における砂地畑土壌の適正粒径組成.  
徳島農試研報, 35: 20~25
- 37) 梯美仁・黒島忠司(1999): サツマイモ栽培における砂地畑土壌の適正粒径組成.  
日本土壌肥料学会講演要旨集, 45: 4

38) 松家義克・梯美仁・小川仁(2000): 徳島県におけるこの20年間の農耕地土壌の実態と変化.  
徳島農試研報, 36:23~36

39) 梯美仁(2001): 造成砂地畑における暗渠排水によるサツマイモの収量, 品質の向上.  
四国農業の新しい技術, 9:81~83

40) 中野充宏(2001): ニンジンのトンネル栽培の環境保全型施肥と収穫直後のソルガム栽培.  
四国農業の新しい技術, 10:125~127

41) 小川仁・梯美仁(2001): 徳島県内砂地畑土壌の地域特性.  
日本砂丘学会全国大会講演要旨集: 10~11

42) 松家義克・中野充宏・梯美仁(2002): ニンジンのビニルトンネル栽培地域における環境保全型土壌管理(第2報) 環境を配慮したニンジンの窒素施肥量.  
徳島農研報, 37:43~54

43) 小川仁・梯美仁・井上光弘・田邊賢二・尾谷浩(2002): 砂地畑における土壌水分推移がサツマイモの収量・品質に及ぼす影響.  
日本砂丘学会全国大会講演要旨集, 49:16~17

44) 梯美仁・黒島忠司・黒田康文(2002): 砂地畑土壌の粒径組成がサツマイモの収量・品質に及ぼす影響.  
日本土壌肥科学雑誌, 73(3):319~322

45) 小川仁・梯美仁(2003): 徳島県における砂地畑土壌の理化学的実態.  
徳島農研報, 1:7~18

## 5 病虫科・病害虫担当

1) 山本勉(1984): キュウリ緑斑モザイク病防除技術の確立.  
農業技術, 39(1):11~17

2) 金磯泰雄(1984): *Alternaria alternata* に起因するダイコン幼苗期の根部黒変及び立枯の発生に及ぼす環境条件の影響.  
四国植物防疫研究, 19:25~34

3) 加々美好信・貞野光弘(1984): 徳島県下でのオモト炭そ病の発生実態と薬剤防除.  
日本植物病理学会報(講要), 50:401

4) 加々美好信(1984): マルチ畦内消毒による土壌病害防除技術.  
農業および園芸, 59(5):694~698

5) 加々美好信・福西務・中西謙二(1985): マルチ畦内消毒の各種土性への適用.  
徳島農試研報, 22:28~38

6) 金磯泰雄(1985): 敷わらに寄生する数種植物病原菌と堆肥化によるそれらの不活化.  
徳島農試研報, 22:39~47

7) 金磯泰雄・酒井勇夫(1985): 種子消毒がムギの発芽・生育に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 22:48~55

8) 金磯泰雄・野口義弘(1986): 土層改良が病害虫の発生並びに土壌消毒効果に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 23:11~16

9) 加々美好信・貞野光弘(1986): オモト炭疽病の発生実態と防除.  
徳島農試研報, 23:17~22

10) 貞野光弘・加々美好信(1986): ホウレンソウ萎凋病の薬剤防除.  
四国植物防疫研究協議会, 1986(11):13~14

11) 加々美好信・貞野光弘・井内晃(1987): オモトノアザミウマの発生生態と防除.  
徳島農試研報, 24:20~29

12) 加々美好信・貞野光弘(1988): 夏どりホウレンソウの萎ちよう病の発生実態と薬剤防除.  
徳島農試研報, 25:35~46

13) 脇屋春良・関口辰也・谷幸泰(1988): ヒラズハナアザミウマによるハス葉の被害.  
徳島農試研報, 25:47~50

14) 関口辰也・脇屋春良(1988): タデアイを加害するカツオゾウムシの生態と防除.  
徳島農試研報, 25:51~57

15) 広田恵介・貞野光弘・阪口豊美・加々美好信(1990): イチゴ炭そ病の発生に及ぼすいくつかの要因.  
四国植物防疫研究, 25:91~95

16) 広田恵介・貞野光弘・阪口豊美・加々美好信(1991): イチゴ炭そ病の施肥量による防除効果.  
日本植物病理学会報(講要), 57(1):96~97

17) 広田恵介・貞野光弘・加々美好信・酒井勇夫(1991): イチゴ炭そ病の発生におよぼす窒素施用量の影響.  
日本植物病理学会報(講要), 57(3):422~423

18) 貞野光弘・広田恵介・河本征臣・土屋建一・鈴木孝仁(1991): 徳島県の砂地畑における *Streptomyces ipomoeae* によるサツマイモ立枯病の発生.  
日本植物病理学会報(講要), 57(3):433~434

19) 金磯泰雄(1992): イチゴうどんこ病に対する薬剤散布効果の低下に関する要因について.  
四国植物防疫研究, 27:23~30

20) 金磯泰雄・谷博・坂口謙二(1992): ドリフトレス・スプレーによるハウス栽培ナスにおけるミナミキイロアザミウマおよびすすかび病の防除効果と農薬の被爆, 残留.  
四国植物防疫研究, 27:49~59

21) 金磯泰雄(1993): イチゴうどんこ病に対する薬剤散布効果の低下に関する要因について.  
日本植物病理学会報(講要), 59(1):76

22) 金磯泰雄・水口晶子(1993): ハス葉における展着剤を加用した薬剤の付着性および葉害の発生.  
徳島農試研報, 29:28~36

23) 金磯泰雄・水口晶子(1993): ハス褐斑病に対する農薬の防除効果.  
四国植物防疫研究, 28:23~29

24) 金磯泰雄(1993): ビニルハウス側面上部の開放による病害の防除 1 春季一重ビニルハウス側面上部の開放とサヤエンドウ病害の発生.

- 25) 喜田直泰・中野昭雄(1993): 幼若ホルモン剤のマルチ資材への処理による露地ナスのミナミキイロアザミウマの防除効果.  
四国植物防疫研究, 28:83~88
- 26) 金磯泰雄(1993): 春季一重ハウスにおけるサイドの開放とエンドウ病害の発生.  
日本植物病理学会報(講要), 59(6):757
- 27) 喜田直康・中野昭雄・浜弘司(1994): 徳島県におけるコナガのキチン合成阻害剤に対する抵抗性発達と室内淘汰による感受性変動.  
日本昆虫学会第54回大会, 第38回日本応用動物昆虫学会合同大会講演要旨, 69
- 28) 中野昭雄・喜田直康(1994): 昆虫寄生性線虫によるサツマイモ畑における鱗翅目害虫の防除.  
日本昆虫学会第54回大会, 第38回日本応用動物昆虫学会合同大会講演要旨, 49
- 29) 中野昭雄・喜田直康(1994): 徳島県におけるハスモンヨトウの薬剤感受性について.  
四国植物防疫研究, 29:123~132
- 30) 金磯泰雄・大植美香(1994): ビニルハウス側面上部の開放と病害の発生.  
四国植物防疫研究, 29:17~26
- 31) 金磯泰雄(1994): 冬春期におけるビニルハウスの内張りカーテンがハウス内の環境並びに病害の発生に及ぼす影響.  
四国植物防疫研究, 29:27~36
- 32) 金磯泰雄・水口晶子(1994): ハス褐斑病菌のビニルハウスからの飛散と露地での発生.  
徳島農試研報, 30:25~31
- 33) 中野昭雄・貞野光弘(1994): 徳島県のサツマイモ栽培地帯におけるタバコナジラミの多発生について.  
徳島農試研報, 30:32~40
- 34) 金磯泰雄(1994): 冬春期におけるビニルハウスの内張りカーテンがハウス内の環境並びに病害の発生に及ぼす影響.  
日本植物病理学会報(講要), 60(6):789
- 35) 中野昭雄・喜田直康(1995): サツマイモ畑に発生するハスモンヨトウに対する昆虫寄生性線虫 *Steinernema carpocapsae* (str. All) の利用の可能性.  
四国植物防疫研究, 30:123~130
- 36) 金磯泰雄(1995): ダイコンわか症の発生実態.  
四国植物防疫研究, 30:57~63
- 37) 金磯泰雄(1995): キュウリ炭そ病の発生要因.  
四国植物防疫研究, 30:65~70
- 38) 金磯泰雄(1995): イチゴうどんこ病を巡る問題 一栽培が増やすうどんこ病.  
植物防疫, 49(6):237~240
- 39) 金磯泰雄・大植美香(1995): 農薬登録外資材による病害虫防除効果.  
徳島農試研報, 31:26~30
- 40) 金磯泰雄(1995): ビニルハウス側面上部の開放方法とハス褐斑病の発生.  
徳島農試研報, 31:31~36
- 41) 中野昭雄・和氣坂成一(1995): 石鹼殺虫剤と天敵との組み合わせによるコナジラミ類の防除.  
日本昆虫学会第55回大会, 第39回日本応用動物昆虫学会合同大会講演要旨, 113
- 42) 金磯泰雄・米本謙悟(1995): 各種資材によるサツマイモ立枯病の防除.  
日本植物病理学会報(講要), 60(6):628
- 43) 大植美香・金磯泰雄(1996): イチゴ苗の薬液浸漬によるうどんこ病の防除.  
四国植物防疫研究(講要), 31:48
- 44) 中野昭雄・喜田直康(1996): 昆虫病原性線虫 *Steinernema carpocapsae* と殺虫剤との混合施用のハスモンヨトウに対する殺虫効果.  
四国植物防疫研究, 31:41~45
- 45) 金磯泰雄・貞野光弘(1996): ハス褐斑病におけるチオファネートメチル耐性菌と他薬剤の防除効果.  
四国植物防疫研究, 31:7~14
- 46) 金磯泰雄(1996): ダイコンわか症の発生実態と防除.  
植物防疫, 50(10):417~421
- 47) 金磯泰雄(1996): キュウリ炭そ病の発生と栽培様式並びに気象条件.  
徳島農試研報, 32:40~46
- 48) 金磯泰雄・貞野光弘・後藤昭文・谷口京子(1996): ダイコンわか症に対する薬剤の防除効果.  
徳島農試研報, 32:47~53
- 49) 金磯泰雄(1996): 冬春期における暖房機の運転がハウス内の環境並びに病害の発生に及ぼす影響.  
日本植物病理学会報(講要), 62(6):636
- 50) 金磯泰雄・米本謙悟(1996): 春期以降における温風暖房機を利用した送風処理がハウス内の環境並びにキュウリべと病の発生に及ぼす影響.  
日本植物病理学会報(講要), 62(6):636
- 51) 原田正剛・喜田直康・中野昭雄(1997): 施設ナスにおけるマルチ資材への殺虫剤散布によるミナミキイロアザミウマの防除効果.  
徳島農試研報, 33:31~35
- 52) 金磯泰雄(1997): キュウリ炭そ病に対する薬剤の散布時期と防除効果.  
徳島農試研報, 33:36~42
- 53) 金磯泰雄・亀代美香(1997): ポット育苗イチゴ苗の薬液への浸漬によるうどんこ病の防除.  
徳島農試研報, 33:43~48
- 54) 中野昭雄・喜田直康(1997): 合成性フェロモンの利用によるハスモンヨトウの防除 サツマイモ栽培地帯における交信攪乱法の効果.  
徳島農試研報, 33:49~56
- 55) 金磯泰雄(1997): 耕種的手法によるハウス内環境(湿度)の制御と病害の防除.  
農業技術, 52(12):534~538
- 56) 金磯泰雄(1998): 薬剤によるキュウリ炭そ病の実用的防除.  
四国植物防疫研究, 33:19~28
- 57) 金磯泰雄・米本謙悟・久米洋平(1999): イチゴうどんこ病に対する薬剤防除効果.  
四国植物防疫研究(講要), 34:94

- 58) 金磯泰雄(1998): 各種資材のサツマイモ立枯病に対する発生抑制効果とこれら資材の併用によるクロルピクリン剤施用量の低減化.  
徳島農試研報, 34: 14~22
- 59) 金磯泰雄・米本謙悟(1998): 砂地畑栽培におけるサツマイモの生育あるいはマルチ資材の種類と立枯病の発生.  
日本砂丘学会第45回全国大会講演要旨: 24~25
- 60) 金磯泰雄・米本謙悟(1998): 秋冬期におけるサツマイモ立枯病に対するクロルピクリン剤のマルチ畦内消毒効果.  
日本植物病理学会報(講要), 64(6): 623~624
- 61) 金磯泰雄・米本謙悟(1999): 冬期におけるクロルピクリンくん蒸等におけるサツマイモ立枯病に対する土壌消毒効果.  
四国植物防疫研究, 34: 15~24
- 62) 金磯泰雄(1999): 農薬の評価試験法と電解水の農薬様評価について.  
第6回機能水シンポジウム講要集: 88~89
- 63) 金磯泰雄(1999): サツマイモ立枯病に対する各種薬剤の防除効果とダゾメット粉粒剤の実用性.  
徳島農試研報, 35: 26~33
- 64) 原田正剛・中野昭雄(1999): 天敵寄生蜂オンシツツヤコバチを利用した促成長期施設トマトにおける総合的害虫管理.  
徳島農試研報, 35: 34~43
- 65) 金磯泰雄・米本謙悟(1999): 春夏期におけるガラス室の温度設定とキュウリおよびトマト病害の発生.  
日本植物病理学会報(講要), 65(6): 682
- 66) 中野昭雄(2000): テンゲンサイに発生するマメハモグリバエの生態と防除.  
四国植物防疫研究(講要), 35: 59
- 67) 金磯泰雄(2000): 温風暖房機による送風が施設内の環境並びにキュウリ病害の発生に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 36: 37~45
- 68) 金磯泰雄・米本謙悟(2001): 冬期におけるクロルピクリンくん蒸剤の土壌消毒によるサツマイモ立枯病の防除.  
四国農業の新しい技術, 9: 85~87
- 69) 金磯泰雄・菅愛・高石喜久(2002): 竹酢液によるイチゴおよびキュウリの数種病害に対する防除効果.  
徳島農研報, 37: 37~42
- 70) 中野昭雄(2001): 2種ツヤコバチのリレー放飼によるコナジラミ類の防除 — 促成トマトを例にして —.  
第11回天敵利用研究会講演要旨集, 5
- 71) 米本謙悟・坂口謙二・亀代美香(2001): ポット苗の薬液浸漬処理によるイチゴうどんこ病の防除(第2報).  
四国植物防疫研究(講要), 36: 76
- 72) 田中昭人・中野昭雄(2002): 防虫ネットを利用した露地栽培コマツナにおける害虫相と防除上の一考察.  
四国植物防疫研究(講要), 37: 75
- 73) 金磯泰雄・亀代美香(2003): イチゴ苗の花芽分化促進処理とうどんこ病の発生.  
徳島農研報, 1: 19~23
- 74) 金磯泰雄・米本謙悟(2003): でんぶん, 米ぬかの土壌(砂土)への施用(混和)による土壌微生物相の変化とサツマイモ立枯病の発生および他の有機質資材の発病抑制効果.  
徳島農研報, 1: 25~32
- 75) 米本謙悟・田中昭人(2003): サツマイモ立枯病における低透過性フィルムの効果.  
四国植物防疫研究(講要), 38: 63

## 6 環境科・生産環境担当(環境保全・農薬)

- 1) 林捷夫・井内晃・須藤真平・後藤昭文(1989): ドリフトレス・スプレーによる農薬の被曝軽減と防除効果.  
徳島農試研報, 26: 38~44 2) 谷博・鈴木隆之(1991): 水中における数種殺菌剤の光分解.  
日本農薬学会第16回大会講要
- 3) 谷博・井内晃・行成正昭・中西友章(1992): ヤマモモ果実に寄生するショウジョウバエに対する各種薬剤の残留と防除効果. 徳島農試研報, 28: 48~53
- 4) 井内晃・谷博(1993): 施設イチゴにおける数種農薬の残留性.  
徳島農試研報, 29: 37~44
- 5) 谷博・林捷夫(1996): 砂地畑におけるクロルピクリンの拡散(第1報)フィルムの厚さ・種類等処理条件がクロルピクリンの拡散に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 32: 54~58
- 6) 谷博・林捷夫(1996): 砂地畑におけるクロルピクリンの拡散(第2報)マルチ畦内消毒における畦表面および畦間からの拡散と土壌中拡散.  
徳島農試研報, 32: 59~63

## 7 経営科・情報企画科・企画経営担当

- 1) 本庄栄二・柏木弥太郎・三宅節(1985): 徳島県における水田利用再編の実態と転作物の選択ならびに定着に関する一考察.  
徳島農試研報, 22: 56~70
- 2) 大谷巽・天野憲典・本庄栄二・末澤克彦・別府英治・岡本健治(1985): 四国傾斜地農業の将来を考える(1).  
農業技術, 40(4): 181~189
- 3) 大谷巽・天野憲典・本庄栄二・末澤克彦・別府英治・岡本健治(1985): 四国傾斜地農業の将来を考える(2).  
農業技術, 40(5): 228~235
- 4) 本庄栄二(1985): 大規模畜産団地を核とする家畜ふん尿の処理・流通システム — 徳島県市場町を事例として —.  
農業経営通信, 145: 13~15
- 5) 本庄栄二(1987): 稲作経営の規模拡大事例と問題点.  
関西農業経済学会四国支部第23回研究会
- 6) 柏木弥太郎(1987): 堆きゅう肥の広域流通と土地生産性の向上 — 徳島県市場町における事例 —.  
研究ジャーナル, 9(12):
- 7) 本庄栄二(1988): 養液栽培による果菜類の収益性 — ロックウール方式を中心として —.  
農業経営通信, 156: 10~12
- 8) 本庄栄二・武知毅(1990): 果菜類におけるロックウール養液栽培の経済性.

- 9) 武知毅(1990): 社会経済的農業生産条件からみた転作農業の特性と方向性.  
徳島農試研報, 27:81~99
- 10) 本庄栄二・武知毅(1991): 四国地域水田農業の現状と展開方向 徳島県における水田農業の現状と展開方向.  
四国農業試験場研究資料, 7:42~54
- 11) 本庄栄二(1991): ジョイファームの経営事例.  
地域農林経済学会四国支部第27回研究会発表要旨
- 12) 武知毅(1992): 小売段階における有機農産物流通の現状と課題.  
徳島農試研報, 28:54~62
- 13) 岩花量盛・武知毅・本庄栄二(1994): 徳島県における農業・農村高齢化の現状と再編方向.  
四国農業試験場研究資料, 13:10~27
- 14) 武知毅(1994): 操作の簡易なエリア情報分析プログラム.  
四国農業の新しい技術, 2:7~11
- 15) 林博昭(1997): WWWを利用した農業気象情報提供システム.  
第6回農林水産情報研究会講演集:112~113
- 16) 林博昭(1999): GISによる農業センサデータの分析.  
農業情報学, 1:17~20
- 17) 喜田直康(1999): 明石海峡大橋開通に伴う交通体系と物流の変化.  
地域農林経済学会四国支部第35回大会
- 18) 佐藤章裕・野田靖之(1999): 農業法人の架橋対応.  
地域農林経済学会四国支部第35回大会
- 19) 山田真也・河村智嗣・喜田直康(1999): 青果物輸送における品質低下防止のための物流体系改善点の把握手法—夏期のイチゴ物流の実態把握—.  
農産物流通技術研究会報, 237:14~16
- 20) 喜田直康(2000): 直売所等における夏季のほうれん草の価格設定—小売店での価格調査と冷凍品との競合—.  
農業経営通信, 205:26~29
- 21) 林博昭・小川仁・梯美仁・井上光弘(2002): 砂地畑における土壌水分の遠隔観測とインターネット対応.  
日本砂丘学会全国大会講演要旨集, 49:18~19

## 8 育種科・栽培育種担当(育種)

- 1) 井内美砂・小川純一(1995): シオデ多芽体由来カルスからの体細胞胚形成.  
徳島農試研報, 31:13~20
- 2) 井内美砂・小川純一(1995): シオデのエンブリオジェニックカルス誘導.  
日本育種学会四国談話会会報, 29:27
- 3) 井内美砂・隔山普宣・大谷基泰・島田多喜子(1997): サツマイモの不定胚発生カルス由来再分化植物の特性.  
育種学雑誌, 47(別1):301
- 4) 隔山普宣・小川純一(1997): ハス培養苗の増殖および順化のための培養条件.  
徳島農試研報, 33:7~12
- 5) 井内美砂(1997): クサソテツの組織培養による大量増殖(第1報)多芽球体の増殖条件.  
徳島農試研報, 33:13~17
- 6) 川村泰史(1999): 組織培養の地域農業振興への適用—シオデ, ごうしゅういも, クサソテツを例に—.  
西日本中央連携軸合同研究発表会講演概要書:20~25
- 7) 井内美砂・後藤昭文・川村泰史(1999): クサソテツの組織培養による大量増殖(第2報)多芽球体の誘導および植物体再生.  
徳島農試研報, 35:14~19
- 8) 川村泰史・高木一文(2000): ヤブカンゾウの組織培養による大量増殖(第1報)多芽体の形成および植物体再生.  
日本育種学会四国談話会第65回講演会
- 9) 井内美砂・小川純一(2000): 徳島県在来バレイシヨの系統分類と種苗生産.  
徳島農試研報, 36:7~17
- 10) 井内美砂・川村泰史・小巻克巳(2000): 茎断片を用いたサツマイモ立枯病抵抗性の簡易検定法.  
育種学研究, 2(別1):297
- 11) 井内美砂(2001): 組織培養によるクサソテツの大量増殖法.  
四国農業の新しい技術, 9:93~97
- 12) 川村泰史(2001): 組織培養によるアサツキの大量増殖.  
日本育種学会四国談話会第66回講演会
- 13) 新居宏延(2001): 培養変異を利用したサツマイモ立枯病抵抗性品種の育成.  
作物学会四国支部・日本育種学会四国談話会
- 14) 川村泰史・吉村健二(2002): ノカンゾウの組織培養による大量増殖.  
園芸中四国発表要旨, 41:58
- 15) 川村泰史・高木一文(2003): ヤブカンゾウの組織培養による大量増殖.  
徳島農研報, 1:1~5

## 9 池田分場・中山間担当

- 1) 細川幸之助(1985): 茶樹の新芽生育に及ぼすせん枝深度の影響.  
徳島農試研報, 22:78~81
- 2) 川下輝一(1986): ダイコン新作型導入を中心とした吉野川中流地帯の野菜作期拡大技術.  
四国地域普及技術レポート, 10:13~22



- 3)川下輝一(1988):四季成り性イチゴ新品種‘みよし’について.  
徳島農試研報, 25:1~4
- 4)柏木弥太郎(1988):山間傾斜地の気象資源を生かした作物立地.  
農業気象, 44(3):227~228
- 5)川村泰史(1989):日長及び遮光の前処理が四季成り性イチゴ‘みよし’の開花に及ぼす影響.  
園芸学会雑誌, 58(別1):344~345
- 6)黒田秧・川村泰史(1989):シオデの茎頂培養による大量増殖.  
育種学雑誌, 39(別2):62~63
- 7)川村泰史・川下輝一・河野充憲(1990):四季成り性イチゴの秋冬どり栽培に関する研究(第1報)鉢受時期と育苗環境.  
徳島農試研報, 27:29~38
- 8)川村泰史・黒田秧(1990):シオデの組織培養による大量増殖(第1報)組織培養による冬芽からの不定芽形成.  
徳島農試研報, 27:39~43
- 9)川村泰史(1990):シオデ苗条からの不定根形成条件.  
日本育種学会四国談話会報, 24
- 10)川村泰史・河野充憲・岡田俊美(1990):イチゴのランナー切断時期が生育及び開花に及ぼす影響.  
園芸学会雑誌, 59(別1):440~441
- 11)川村泰史(1990):シオデの組織培養におけるシヨ糖濃度が不定芽及び不定根形成に及ぼす影響.  
園芸中四国発表要旨, 29:38
- 12)河野充憲(1990):タラふかし栽培における穂木斜め挿し法が生育に及ぼす影響.  
園芸中四国発表要旨, 29:39
- 13)川村泰史(1992):シオデの組織培養による大量増殖(第2報)不定芽および不定根の形成に及ぼすシヨ糖濃度の影響.  
徳島農試研報, 28:30~34
- 14)川村泰史(1992):モミジガサの葉切片からの植物体再生.  
園芸学会雑誌, 61(別1):224~225
- 15)川村泰史・河野充憲・岡田俊美(1993):四季成り性イチゴの秋冬どり栽培に関する研究(第2報)ランナー切り離し時期と電照開始時期.  
徳島農試研報, 29:8~14
- 16)河野充憲(1993):タラふかし栽培における穂木斜め挿し法が側芽の生育および作業性に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 29:15~19
- 17)黒田秧・川村泰史(1994):連続多芽体培養によるシオデの大量増殖.  
四国農業試験場報告, 58:69~83
- 18)林純二・岡田俊美(1994):四季成り性イチゴ‘みよし’を用いた秋冬・初夏二期どり栽培の開発.  
徳島農試研報, 30:11~16
- 19)河野充憲(1995):シオデの生育特性.  
四国農業の新しい技術, 3:51~57
- 20)後藤昭文(1996):樹冠内中央パイプルー方式による傾斜地茶園管理の軽労化.  
四国農業の新しい技術, 4:51~55
- 21)高木和彦(1996):中山間地域における8~9月どりトルコギキョウのマルチ・遮光処理による高品質化.  
四国農業の新しい技術, 5:1~3
- 22)高木和彦・國見吉広・岡田俊美・林純二(1997):8~9月どりトルコギキョウの反射フィルムマルチと遮光処理の組合せによる切り花の高品質化.  
徳島農試研報, 33:1~6
- 23)豊永恭代・後藤昭文(1997):2・3番チャ葉の利用によるカテキン類を含んだ機能性食品素材の開発.  
徳島農試研報, 33:18~24
- 24)高木和彦(1998):トルコギキョウのセル成型苗の効率的生産培地.  
四国農業の新しい技術, 7:69~70
- 25)後藤昭文(1998):穂木低温貯蔵によるタラノメの収穫期延長法.  
徳島農試研報, 34:9~13

## 10 海南分場・阿南筍試験地・県南暖地担当

- 1)丸尾包治(1966):農産加工原料用蔬菜の栽培と貯蔵・加工 4 孟宗筍の栽培.  
農業および園芸, 41(4):677~680
- 2)福岡省二(1984):芳玉イチゴのポット育苗栽培技術.  
四国地域普及技術レポート, 8:11~22
- 3)丸尾包治(1984):タケノコ早掘り栽培技術.  
四国地域普及技術レポート, 8:23~33
- 4)丸尾包治(1984):おが屑堆肥によるタケノコ早掘りについて.  
第25回全国竹の大会筍生産分科会要旨:82
- 5)丸尾包治(1985):モウソウタケノコの黒変症(仮称)に対する温度処理試験.  
Bamboo Journal, 3:30~38
- 6)丸尾包治(1986):タケノコの良品多収技術—オガクズ堆肥施用による早掘り栽培を中心に—.  
農業および園芸, 61(11):1318~1324
- 7)山下久男・阪口巧・北岡祥治(1989):促成キュウリ栽培における少ブルーム台木の種類がブルームの発生と収量に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 26:9~16
- 8)古藤英司・山下久男・兼市良徳(1993):ブルームレス台木を用いたキュウリの促成栽培に関する研究(第1報)電照および摘葉が生育・収量に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 29:1~7
- 9)古藤英司(1993):促成キュウリに対する電照の効果.  
ハイドロポニックス, 7(1):14~15

- 11) 古藤英司・阪口豊美・兼市良徳(1995): ブルームレス台木を用いたキュウリの促成栽培に関する研究(第2報)仕立て本数および灌水量が生育,収量に及ぼす影響.  
徳島農試研報, 31:1~6
- 12) 阪口豊美・古藤英司・兼市良徳(1996): 厳寒期の温度管理が春どりニンジンの生育と抽だいに及ぼす影響.  
徳島農試研報, 32:12~14
- 13) 阪口豊美・古藤英司・兼市良徳(1996): クルクマ・シャローム(*Curcuma alismatifolia*)の春どり前進と夏秋どり拡充の栽培技術.  
徳島農試研報, 32:22~28
- 14) 川口公男・東出圓朗・谷本温暉(1998): 筍園の親竹伐採年数と筍収量.  
富士竹類植物園報告, 42:48~50
- 15) 川口公男(1998): 高収益筍生産を目指して.  
第39回全国竹の大会筍生産分科会資料:57
- 16) 川口公男(1999): 初夏台風による新竹の被害.  
富士竹類植物園報告, 43:146~148
- 17) 蟻馬啓延・阪口豊美(2002): キュウリの促成栽培におけるセル成型苗の直接定植が生育収量に及ぼす影響.  
徳島農研研報, 37:13~23
- 18) 安淵次郎・東出圓朗・川口公男(2002): 帯状皆伐と簡易被覆による筍の促成栽培技術.  
徳島農研研報, 37:25~29

## 11 鴨島分場(平成10~12年度)

- 1) 佐藤泰三(1998): セリシン蚕裸蛹, pNdの繭層タンパク性状について.  
第64回日本蚕糸学会関西支部講演要旨集:31
- 2) 三木健司(1998): 精練法に違いによる絹紡糸の沈澱藍による染色性.  
第64回日本蚕糸学会関西支部講演要旨集:32
- 3) 平川文男(1998): 数種の鱗翅目昆虫培養細胞の作出.  
第64回日本蚕糸学会関西支部講演要旨集:33
- 4) 金山正之(1999): 徳島県における繭品質評価について.  
第65回日本蚕糸学会関西支部講演要旨集:27
- 5) 竹内秀人(1999): 繭の教材利用としての釣り糸リールを用いた糸づくり.  
第65回日本蚕糸学会関西支部講演要旨集:32
- 6) 三木健司(1999): 練減率に違いによる藍染めへの影響.  
第65回日本蚕糸学会関西支部講演要旨集:31
- 7) 平川文男(2000): モンシロドクガ培養細胞系の樹立.  
第66回日本蚕糸学会関西支部講演要旨集:25
- 8) 平川文男(2000): モンシロチョウ培養細胞系の樹立.  
第66回日本蚕糸学会関西支部講演要旨集:26
- 9) 平川文男(2000): カイコ培養細胞系の樹立.  
第66回日本蚕糸学会関西支部講演要旨集:27
- 10) 三木健司(2001): 藍の乾燥葉粉末による絹紡糸の染色法.  
四国農業の新しい技術, 10:115~117
- 11) 平川文男(2003): モンシロドクガ培養細胞系の樹立.  
徳島農研報, 1:33~38

## 12 種苗法に基づく品種登録

- 1) いちご「みよし」  
登録番号: 第1324号, 登録日: 昭和62年6月10日, 失効
- 2) いちご「めぐみ」  
登録番号: 第10246号, 登録日: 平成14年6月20日
- 3) ゆり「阿波の白雪」  
登録番号: 11649号, 登録日: 平成16年1月13日
- 4) ふき「みさと」  
申請日: 平成15年3月7日

## 13 特許出願

- 1) 畝用作業台車  
特開2002-360034, 平成14年12月17日公開, 吉田良・株式会社ニシザワ西沢章
- 2) スライド式の播種器  
特開2004-49150, 平成16年2月19日公開, 徳島県立工業技術センター小川仁・徳島県立農林水産総合技術センター農業研究所高木和彦・阿南農業改良普及センター相生支所武市啓志

## 14 実用新案

- 1) 下方向排気式実験台  
出願番号1-100964, 平成元年8月29日出願, (株)ダルトンと共同